

マ ペットを飼う際は ナーを守って飼いましょう

問い合わせ 環境課生活環境室 ☎53-2111 (内線3311) 記事ID 0001336

犬や猫の飼い方に関するトラブルが増加しています。犬や猫を飼育している人は、動物が苦手な人もいることを理解し、マナーを守って飼うようにしましょう。

犬を飼っている人へ

犬を散歩させる時は、ふん・尿をした時のために、ビニール袋やスコップ、水洗いのための水などを準備し、屋外にふんを放置することがないようにしてください。



猫を飼っている人へ

猫は屋外に出すと、ご近所の庭を汚したり、自由な交配により野良猫を増やすことがあります。また、感染症にかかったり事故に遭う危険もありますので、室内での飼育を心がけましょう。

野良猫にエサをあげている人へ

野良猫には絶対に餌を与えないでください。飼う意思がないのに餌を与えていると、周囲に猫が集まり、ふん尿や鳴き声でご近所に迷惑がかかります。不幸な猫を増やさないためにも、このような行為は絶対にやめましょう。



環 ゼロカーボンシティへの取り組みの一つとして 環境美化袋（バイオマス資源を原料としたごみ袋）を作成しました

問い合わせ 環境課生活環境室 ☎53-2111 (内線3311) 記事ID 0067074

市では令和3年6月4日にゼロカーボンシティ宣言を行い、その取り組みの一つとして「環境美化袋（バイオマス資源を原料としたごみ袋）」を作成しました。

一般的なごみ袋はプラスチック（ポリエチレン）製となっており、燃やす際に二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因となっています。（温室効果ガス）

「環境美化袋」の成分にもなっているバイオマスプラスチックは、トウモロコシなどの植物由来の原料を利用して作られており、このごみ袋を燃やしても二酸化炭素が出ますが、それは原料である植物が育つときに光合成で吸収された二酸化炭素であるため、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えません。

この考え方は「カーボンニュートラル」と呼ばれています。

このたび作成した「環境美化袋」は、お米（非食用米）と植物由来のバイオマス成分が25%を占めており、石油資源の節約と地球温暖化の原因となる二酸化炭素削減に貢献している環境にやさしい袋となっています。

なお、「環境美化袋」については市内の小・中学校や保育園、市内で環境美化活動を行う団体などに配布しています。

詳しくは、環境課生活環境室までお問い合わせください。



災 助け合いの力を高める 災害時避難行動要支援者の支援について考えましょう

問い合わせ 介護高齢課高齢者支援室 ☎53-2111 (内線3420、3421) 記事ID 0061832

近年、多くの自然災害が発生しています。災害時に一人では避難することが困難な高齢者や障がいがある人（避難行動要支援者）などに対する支援をどのように進めるかを皆さんで考えましょう。

「避難行動要支援者」に対する支援とは

地震や水害などの災害時に、自力での避難が困難な避難行動要支援者を地域の支え合いや助け合いで守ろうという取り組みです。

避難行動要支援者を災害から守るには、どのような支援が必要かを町内や集落などの自治会、自主防災会などで事前に話し合い、「支援する側」と「支援される側」とで互いに申し合わせておくことが重要です。

避難行動要支援者名簿の作成

市では、災害時に、自力での避難が困難な高齢者や障がいをお持ちの人などを把握するために「避難行動要支援者名簿」を作成し、対象者の同意を得て、事前に避難支援等関係者（自治会、自主防災会、民生委員など）に配布します。

避難支援等関係者は、避難行動要支援者名簿を基に、災害時に避難支援が必要になる人を把握し、平時から地域による避難支援体制づくりを進めることができます。



災害時見守りカード（個別避難計画）の作成

災害時に避難行動要支援者をスムーズに支援するためには、心身の状態や家族の状況、緊急連絡先などの情報を確認し、避難時の支援体制などを事前に決めておく必要があります。その内容を、本人の同意を得た上で「災害時見守りカード（個別避難計画）」にまとめ、市と避難支援等関係者で情報を共有し、災害時に備えることにしています。

今年度も、優先的に災害時見守りカードの作成が必要な人を把握し、自治会などが中心となって見守りカードの作成に取り組む予定です。

住 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの 住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況を公表します

問い合わせ 市民課市民年金室 ☎53-2111 (内線2212) 記事ID 0067210

住民基本台帳法、住民基本台帳の一部の写しの閲覧および住民票の写しなどの交付に関する省令により、閲覧状況を公表することが義務付けられています。令和3年4月1日から令和4年3月31日までの閲覧状況は下記のとおりです。

申出者	利用目的の概要	閲覧の年月日	閲覧に係る住民の範囲	
			地域	対象
株式会社日本リサーチセンター 代表取締役社長 杉原領治	「第8回 勤労生活に関する調査」の対象者抽出 (委託者: 独立行政法人 労働政策研究・研修機構)	令和3年8月4日	塩谷	20歳以上
一般社団法人中央調査社 会長 境克彦	「全国メディア意識世論調査(メディア利用についておたすねる調査)」の対象者抽出 (委託者: NHK放送文化研究所 世論調査部長)	令和3年8月18日	瀬波新田町、 滝の前、岩 ヶ崎、羽下 ヶ淵、大月	16歳以上
一般社団法人中央調査社 会長 境克彦	「健康・医療に関する国際比較調査」の対象者抽出 (委託者: NHK放送文化研究所 世論調査部長)	令和3年8月18日	佐々木	18歳以上
一般社団法人中央調査社 会長 境克彦	「テレビ視聴に関する調査」の対象者抽出 (委託者: 株式会社 野村総合研究所)	令和3年11月9日	坂町	16歳以上の 日本人
自衛隊新潟地方協力本部 本部長 大倉正義	自衛隊法第29条第1項及び第35条の規定に基づく 陸上自衛隊高等工科学校生徒募集に関する適齢者 抽出	令和3年11月24日	村上市全域	平成19年4 月2日～平 成20年4月 1日生まれ 男子
株式会社サーベイリサーチセンター 代表取締役 藤澤士朗	「暮らしと仕事に関する全国オンライン調査2022 春」の対象者抽出 (委託者: 国立大学法人東京大学 社会科学研究所)	令和4年1月18日	貝附、花立、 荒島、春木 山、上鍛冶 屋、下鍛冶屋	昭和56年1 月1日～平成 12年12月31 日生まれ